

「がん相談支援センター」をご存じですか？

桐生厚生総合病院は国からがん診療連携拠点病院の指定を受け、その指定要件である「がん相談支援センター」を病院 1 階の地域医療連携室内に設置しております。

当院のがん相談支援センターでは、がん専門看護師や緩和ケア認定看護師、臨床心理士が、がん診療に関する一般的な医療の情報提供、セカンドオピニオンが受けられる医療機関の紹介、緩和ケアに関する相談、在宅療養に関する相談、就労相談、がんに関する医療費など幅広い相談に対応しております。

がんと告知された時、患者さんやご家族から「頭が真っ白になった」とよくお聞きします。「がん」という言葉から「怖いもの」「治療が大変」「高額な医療費」などのイメージを連想される方が多く、病気のショックに加え、漠然とした先行きの不安を感じる方が大半です。病気と向き合う中で大切なことは、適切な情報をもとに病気を正しく理解すること、主治医をはじめとする医療スタッフとしっかりコミュニケーションを図ること、つらい気持ちや悩みを打ち明けられる存在がいることです。近年、テレビや新聞、インターネットなどからさまざまながん情報を容易に入手できるようになりました。しかし情報の中には根拠に乏しい治療や営利目的が主体の治療が提供され、患者さんやご家族が迷ったり、悩んだりすることも少なくありません。そのような悩みを解決する手助けとして、疑問に答え、不安なときに話を聞いてくれる「がんの相談窓口」の役割を果たしているのが、がん相談支援センターです。

当院のがん相談支援センターは、当院へ通院・入院されている患者さんや家族だけではなく、どなたからの相談にも予約不要・無料で対応しております。相談者のプライバシーに配慮し、匿名での相談も可能です。また相談内容によっては病院内外の関係者と連携しながら、問題解決のお手伝いをさせていただきますので、安心してご相談ください。

当院は、『信頼され、心が通う地域医療』を病院理念に掲げ、地域住民の皆さまに質の高いがん医療を提供できるよう、日々の診療を行っております。その一端として皆さまの心の負担が少しでも和らぐことができるよう支援させていただきますので、がん相談支援センターをぜひ活用してください。

【緩和ケア認定看護師 五十嵐 千代子】

